

J-StarX Capital Leap

Singapore

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

シンガポールを中心に東南アジア進出を目指す日系スタートアップに向けて、シンガポールに拠点のある現地トップティアVC/CVCからの資金調達機会の創出や、事業提携・パートナーシップ構築を支援する。

1	東南アジアトップティアのVC/CVCを惹きつける資金調達戦略の策定
2	メンターとの個別メンタリングによる、東南アジア市場進出へのノウハウの獲得
3	日本のスタートアップへの投資意欲が明確な現地VC/CVCのGPクラスに対するピッチ機会

派遣先

シンガポール（セミファイナルピッチを通過したファイナリスト企業が対象）

※各VC/CVCによって投資・提携対象となるステージ・分野は異なります。
主な対象 詳細はP8～P11をご確認ください。

対象企業	東南アジアでの資金調達、事業提携・パートナーシップ構築、進出等を目指す日系スタートアップ
ステージ	プレシード ～ レイター
マイルストーン分類	Connector
分野	先端製造、スマートシティ、Agritech & Foodtech、B2Bソフトウェア、AI、Climate Tech など
留意事項	- 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラスもしくは海外事業責任者の方）がプログラムを通じて参加が可能なこと - メンタリング、ピッチイベントの参加が可能な英語力を有すること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像

※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります。
※全日程、使用言語は英語となります。



※本プログラムでは、JR東日本東南アジア事業開発(株)が運営協力法人として、運営支援を行います。

1 オンライントレーニング

市場理解やローカルマーケット情報、資金調達ノウハウなど事業開発、資金調達およびピッチに関するトレーニングを実施する。

定員 10~12社程度

**日程
場所** 9月中旬 ~ 10月上旬
オンライン

概要

- 現役VCやVC経験者、CVC・テック企業幹部など、現地エコシステムに精通したメンター陣が、資金調達戦略の策定から投資家対応まで実践的にアドバイスする。
- 1on1でのピッチトレーニング
- ローカルマーケット情報、資金調達や事業提携・パートナーシップ構築のノウハウなどの提供

2 国内プログラム（セミファイナルピッチ）

東南アジアトップティアVC/CVCのGP・投資責任者クラスが審査員として参加するオープン形式のピッチイベントを開催する。

定員 10~12社程度

**日程
場所** 2026年10月5日(月) ※Global Startup Expo（GSE）に合わせた実施
大阪（FUTRWORKS 大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル26階）
<https://futrworks.com/jp/>

概要

- 現地VC/CVCが来日のうえピッチの審査を行い、ファイナリストを選出。
＜審査員（予定）＞
 - ST Engineering Ventures : Yang See Kiat
 - ClayCapital : Gerard Chia
 - Vertex Ventures SE Asia & India : Steven Vanada
 - elev8.vc : Remi Choong
- ※詳細はP8～P11を参照
- セミファイナル後にネットワーキングを実施

3 個別メンタリング・オンラインピッチ

有識者メンターとのメンタリングとともに、スタートアップのニーズ掘り下げや投資関心を示す現地VC・CVCの特定を行う。

定員 5社程度

**日程
場所** 2026年10月中旬～2027年1月頃
オンライン

概要

- 東南アジア市場進出ノウハウの提供
- 1on1でのメンタリング
- ピッチのブラッシュアップ
- オンラインピッチ実施による、投資関心を示す現地VC・CVCの特定

4 現地プログラム（ファイナルピッチ）

関心を示した投資家に対するピッチ機会を提供するほか、個社のニーズに応じ、投資家や潜在顧客とのマッチングを行う。

定員 5社程度

**日程
場所** 2027年1月中旬（予定） ※2～3日間を予定
シンガポール

概要

- 投資や事業提携・パートナーシップ検討の関心を確認した現地VC・CVCに対するファイナルピッチ
- ピッチイベント後のネットワーキング
- 個社ニーズに応じた投資家・潜在顧客とのマッチング
- オンラインフォローアップ（現地渡航後）



Thomas Jeng | Head of Startups, OpenAI

世界をリードするAI企業OpenAIにてスタートアッププログラムの責任者を務める。過去にはグローバルVCのHeadlineでベンチャーパートナーを務めた他、500 StartupsやAspire等で要職を歴任し、数々のスタートアップ支援や投資に関わる。



Ee Ling Lim | Global Mentor, 500 Global

シンガポールを拠点とする起業家・投資家で、500 Global (旧500 Startups) の元エグゼクティブディレクターとして、世界各国で60以上のスタートアップ支援プログラムを主導。また、教育系スタートアップ「Smarter Me」の共同創業者兼CEOとしても活動し、若者の起業家育成に注力。以前は約10年間、投資銀行業務に従事し、M&AやECM領域にて活躍。



Jonathan Lim | Managing Partner, Asia Venture Partners

前職のEnterprise Singaporeを含め、これまでに600以上のスタートアップのスケーリングと100以上の共同イノベーションプロジェクトに関与し成功。また、500 Globalの「Global Launch San Francisco」プログラムを通じて、シンガポールのスタートアップが米国市場に進出する支援も実施。



Kenneth Jeng | APAC Lead, Persona

日本、米国、台湾、タイ、モンゴル、ラオスにおける現地経験を有し、アーリーステージスタートアップのオペレーション、ベンチャービルディング、エコシステム／コミュニティ形成、CVCアドバイザー、0→1のプロダクトマネジメントまで、幅広く多様な実績を保有。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – VC/CVCの紹介（審査員）



（1）ST Engineering Ventures

企業概要 （URL: <https://www.stengg.com/>）

- シンガポール政府系のエンジニアリング大手ST Engineeringが運営するCVC。
- 先端技術やスマートシティ分野を中心に世界中のスタートアップへ投資し、事業連携を通じて成長支援を行う。
- また、ST Engineering Venturesを窓口に、ST Engineeringと共同でPoCを実施するスタートアップに対し、シンガポール政府が資金支援し、商用化までつなげるスキーム*を有す。

投資関心対象

- ステージ：全ステージ対象（ビジネスユニットとの協業可能性を見据えて検討）
- 分野：Quantum、Advanced Materials、Cybersecurity、Smart Cities
- 技術熟練度（TRL）：6～7程度以上あると望ましい

提携関心対象

- 先端製造（Industrial AI, Materials等）、スマートシティ（Autonomous mobility, Robotics）等

ST Engineering Venturesとシンガポール企業庁が連携する[補助金スキーム*](#)

- 目的：グローバル企業との商用検証機会の提供
- 補助金：PoC費用の最大50%（上限5万SGD）
- 対象技術領域：ロボティクス、サイバーセキュリティ、通信・AI、先端材料・積層造形（3Dプリント）、サステナビリティ、フォトニクス・量子技術などの先端分野



< Investor Judge >



Yang See Kiat
Vice President

（２）ClayCapital

企業概要 （URL：<https://www.claycapital.vc/>）

- スイス・ベルギー・シンガポールを拠点とするVC。
- ファンド全体の運用資産総額は約8億米ドル。
- 「食と農業を通じて、人と地球の健康を再構築する」を投資テーマとし、アジア・欧州を中心に、FoodTech・AgriTech分野のスタートアップへ投資している。

投資関心対象

- ステージ：シード・シリーズA/Bを中心としたアーリー～ミドルステージ
- 分野：Energy Transition、Agritech & Foodtech、Health & Nutrition

提携関心対象

- 東南アジアをメインターゲットとして、海外市場への事業展開を目指す企業
- 食品・農業領域の事業会社との連携を志向する企業
- 食品・農業バリューチェーンを変革する革新的技術
- 発酵・微生物・細胞培養などのバイオテクノロジー
- サステナブル素材・代替タンパク質・機能性食品領域におけるB2B向けプロダクト・ソリューション

Clay Capital

< Investor Judge >



Gerard Chia

Partner

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – VC/CVCの紹介（審査員）



（3）Vertex Ventures SEA & India

企業概要 （URL: <https://www.vertexventures.sg/>）

- シンガポール政府系投資会社であるVertex HoldingsのグローバルVCネットワークの一員で、東南アジア・インドを中心に投資を行うアーリーステージVC。
- ファンド全体の運用資産総額は約15億米ドル。
- 資金提供に加え、採用、事業開発、海外展開、次回資金調達などのハンズオン支援を提供。



投資関心対象

- ステージ：シード・シリーズA/Bを中心としたアーリー～ミドルステージ
- 分野：Enterprise Software、AI、FinTech、Sustainability / Climate Tech、HealthTech、Consumer Tech、B2B SaaS、Deep Tech（半導体、ロボティクス等も対象）

提携関心対象

- 東南アジアを主なターゲットとし、インドを含む周辺市場への展開も視野に入れる企業
- 大企業との事業連携、海外市場進出、次回ラウンド調達などを通じて急成長を目指す企業
- グローバル展開を見据えたB2Bソフトウェア、AI、FinTech、Climate Tech、Enterprise領域
- Vertexのグローバルネットワークを活用し、投資先・協業先企業とのマッチングや新規事業開発につながる事業

< Investor Judge >



Steven Vanada

Advisor

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – VC/CVCの紹介（審査員）

（4）elev8.vc

企業概要 （URL : <https://elev8.vc/>）

- シンガポールを拠点とし、革新的なテクノロジーと高い商業化ポテンシャルを有するアリーステージのDeep Techスタートアップに特化したVC。
- プレシード段階から支援する「Elev8 Ignite」を展開しており、法人設立前のDeep Tech創業者に対するventure buildingから、設立後の初期投資まで一貫して支援。
- 投資先に対しては、資金提供だけでなく、事業戦略、プロダクト・マーケット・フィット、顧客・パートナー開拓、資金調達等を含むFounder-firstのハンズオン支援を実施。

投資関心対象

- ステージ：プレシード～シリーズ A
- チケットサイズ：プレシード：10万米ドル～、VCラウンド：50万米ドル～
- 分野：High Compute、Frontier AI、Cyber-Physical Systems、Next-Gen Materials、Clean Energy
- 重視する点：高い技術優位性・参入障壁を有するDeep Techであること。特に、研究開発に留まらず、将来的な商業化・事業成長が期待できるスタートアップを重視。

提携関心対象

- Deep Tech領域（COMPLEX COMPUTING・SMART MOBILITY）において、シンガポール・東南アジア市場への進出、事業開発、顧客・法人パートナー開拓を目指す企業



< Investor Judge >



Remi Choong

Partner

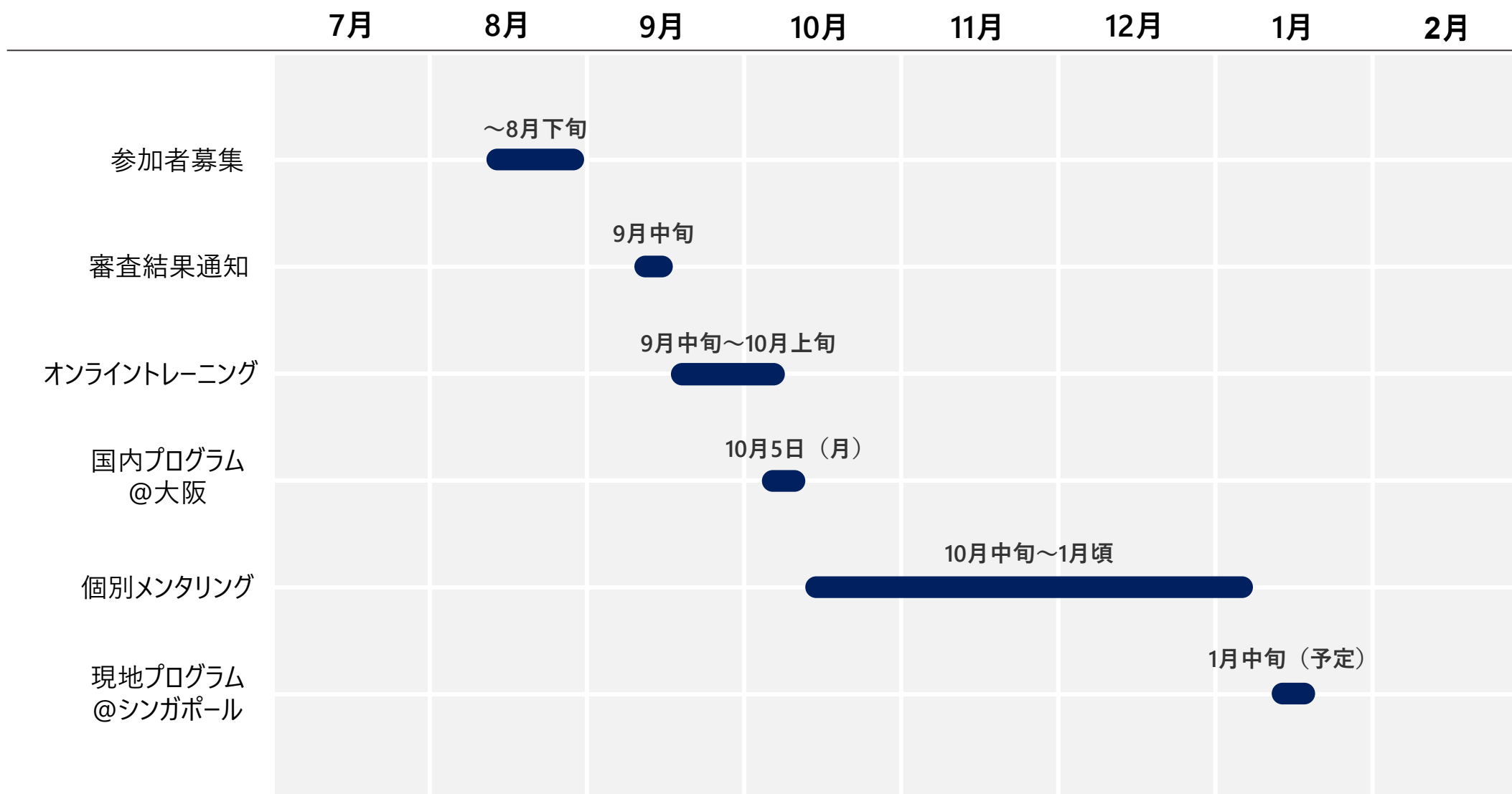
02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – VC/CVCの紹介（プログラム協力機関）



ピッチ審査をするVC/CVCに加えて、以下の有力VCがファイナルピッチへの参加や個別面談等に関心を示している

	Tin Men Capital 	Insignia Ventures Partners 	Wavemaker Ventures 
投資担当 エグゼクティブ	Jeremy Tan Co-Founder & Managing Partner 	Yinglan Tan Founding Managing Partner 	Andy Hwang General Partner 
VCの特徴	シンガポール拠点のB2BエンタープライズTech特化VC（2018年設立）	東南アジア特化VC（2017年設立）、累計運用額7億米ドル超	Enterprise・Deep Tech・Sustainability特化VC、200社超に投資
投資ステージ	プレシリーズA～シリーズA	プレシード～シリーズA中心、グロスまで対応	プレシード～シード
関心領域	AI・フロンティア技術を活用したB2Bソフトウェア	Fintech、Commerce、Mobility、Logistics、Education、Healthcare等	Enterprise（B2Bソフトウェア）、Deep Tech、Sustainability
投資規模 (チケットサイズ)	200万～400万米ドル	幅広く対応	100万～150万米ドル
重視する ポイント	・資本効率性、収益化への明確な道筋 ・東南アジア展開を目指すB2B企業	・東南アジアでの成長可能性 ・日本⇄東南アジアの事業連携、上場志向のある企業	・B2Bモデル、東南アジアでの実績・トラクション ・東南アジア市場での事業展開・顧客開拓を目指す企業

03 SCHEDULE | スケジュール



04 ELIGIBILITY AND APPLICATION REQUIREMENTS | 対象者・応募要件



定員

- ・ オンライントレーニング、国内プログラム（セミファイナル）：10~12社程度
- ・ 個別メンタリング、現地プログラム（ファイナルピッチ）：5社程度

主な対象

※各VC/CVCによって投資・提携対象となるステージ・分野は異なります。詳細はP8～P11をご確認ください。

対象企業	東南アジアでの資金調達、事業提携・パートナーシップ構築、進出等を目指す日系スタートアップ
ステージ	プレシード ～ レイター
マイルストーン 分類	Connector
分野	先端製造、スマートシティ、Agritech & Foodtech、B2Bソフトウェア、AI、Climate Tech など
留意事項	・ 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラスもしくは海外事業責任者）がプログラムを通じ参加可能なこと ・ メンタリング、ピッチイベントの参加が可能な英語力を有すること

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- ・ 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方（日系スタートアップに所属する方である限り、参加者の国籍は問わない）
- ・ シンガポールを中心に資金調達や東南アジア市場への展開を強く志向していること、また本コースの全てのプログラムに参加できること
- ・ 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- ・ 参加後のアンケート等に協力いただけること*
- ・ 英語の提案資料/商談可能な英語力、及び本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

*本プログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します。

参加者による費用負担

- 国内移動費
- シンガポール渡航費（航空券）
- 国内及び現地プログラム参加に係る宿泊費
- 海外での移動費、飲食費、通信費、VISA代、海外旅行保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

JETROによる費用負担（現物支給）

- オンライン/国内、現地滞在中のメンタリング・ワークショップ・イベント開催等の各種プログラム料

※上記は全てJETROにて直接手配します。参加者に上記費用を支払うものではありません。



選考基準

- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること
※次ページに詳細
- メンターならびにJETROがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること

選考基準：適切なコース選定

■プログラム選定の考え方

各プログラムでは、参加企業が最大限の成果を得られるよう、**事業ステージと目的に応じた適切なコース選定**を選考基準の一つとしています。

海外展開に向けた課題やニーズは企業ごとに異なるため、**自社が「今、何を達成したいのか」から逆算したコース選択**を推奨します。

主な参加目的例

- ・ 海外市場におけるPMF検証
- ・ Go-to-Market戦略の精緻化
- ・ 初期トラクションの獲得
- ・ 海外ネットワークの構築

目的が明確でないまま複数のプログラムに参加することは、時間やリソースの分散につながる可能性があります。スタートアップにとって最も重要なリソースである「時間」を有効に活用するため、コース選定の趣旨をご理解のうえご応募ください。

■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、事業ステージや目指す方向性に応じた**最適なコース選定の相談**を受け付けています。

- ・ 今年度、他のアクセラレーションプログラムに採択されている方
- ・ 適切なコース選択に迷っている方

いずれの場合も、応募前にお気軽にご相談ください。

マイルストーンタイプ	参加目的	参加条件想定
Explorer(探索)	アイデア段階での方向性検証・市場理解	MVP未満、海外展開意欲あり
Validator(検証)	PoC/MVP段階での市場検証・ユーザーヒアリング	プロダクトあり、仮説検証段階
Scaler(成長)	顧客・投資家獲得、海外展開実行	プロダクト一定成熟、海外進出予定
Connector(特化)	投資家・パートナー連携重視	目的特化(資金調達、提携など)

応募フォーム

2026年8月31日(月) 11:59 (JST) 締切

■ご応募に注意関する注意事項

- ・ 締切後のご応募は、理由の如何を問わず受け付けいたしません
- ・ 締切直前はアクセス集中により応募できない場合がありますので、余裕をもってご応募ください
- ・ 提出後のピッチ内容の修正・差し替えは一切できません

■応募フローについて

- ・ 応募フォーム内にて、企業ロゴ・ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です（形式・方法等は次ページ以降参照）
- ・ 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- ・ 必要に応じて面談審査（オンライン）が発生する可能性があります。
- ・ 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
- ・ 誓約書のご提出が必要となります。詳細は採択者に別途ご案内いたします

英語ピッチデックの提出方法・プロセス

Step 1 資料準備

- ・英語ピッチデック
- ・企業ロゴの提出

企業ロゴおよび作成した英語資料は、Google DriveもしくはCanvaなどに**権限が付与された閲覧可能なURL**に変換後、**P18の応募フォーム内**にてご提出ください。

※詳細は次頁

Step 2 お申込み

プログラムへの
参加登録、必要情報の
記入

必要な情報をご記入の上、
P18の応募フォームからお
申込みください。

■URL発行が難しい場合

- ・ URLでの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください
- ・ メールのはじめは「コース名_企業名_名前」とし、
本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)

英語ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ 英語ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、最大10ページでご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（**ファイルサイズは3MB以下**）
- ファイル名は「**コース名_企業名_名前.pdf**」としてください（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- **2026年8月31日(月) 11:59 (JST) まで**にご提出ください
- AI生成動画は審査の対象外となります。

■ 英語ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. プロダクト/サービス（解決する課題とその方法）
2. ビジネスモデル/市場規模/競合優位性
3. 過去の実績と今後の展望/事業計画/東南アジア展開戦略
4. チーム（創業者・経営者のLinkedIn情報も盛り込んでください）

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本プログラムの参加費用支援は、原則1社1名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびJETRO職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、JETRO事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。（公開内容は事前に確認を行います）
4. JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※P. 17参照

免責事項

[J-StarX 利用規約・免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 J-StarX Capital Leap Singapore

実施機関 ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課

担当者 田口・大田

お問い合わせ [問い合わせフォーム](#)

